

藤沢

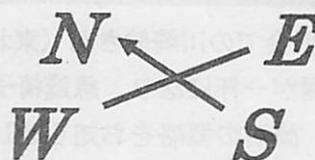
エコネット

2012年8月1日

第219号

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット



http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

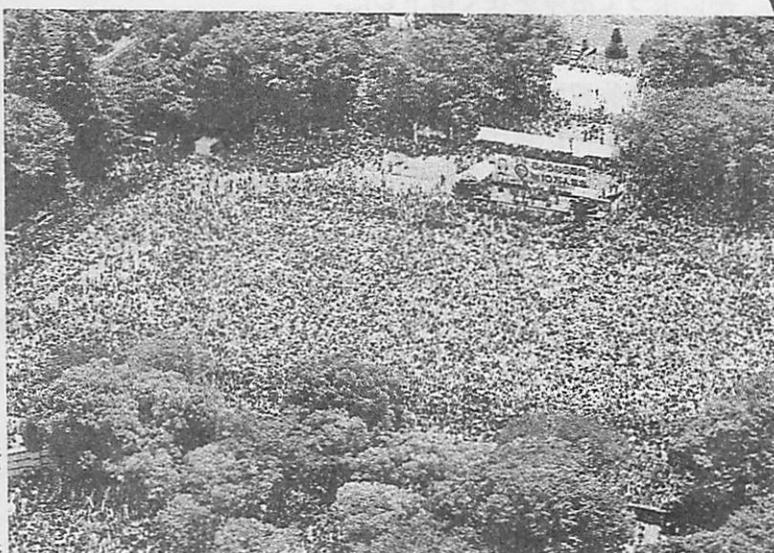
e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

- 主 事 ・「ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南」大成功
- な 記 ・学習会「原発事故による海と生物の汚染」
- 事 ・放射能検査 武田問題対策連絡会総会
- ・7.16 集会で「原発さよなら！」を

7.16 代々木公園の集会で「原発さよなら！」を

代々木公園に全国から歴史的規模の17万人が参加して開催された「原発なくそう」の大集会は、国民世論になりマスコミでも取り上げられました。

第1ステージの呼びかけ人の発言では、大江健三郎さんは「署名を無視して再稼働を決めた政府に侮辱されていると感じる」、坂本龍一さんは「子どもの命を危険にさらすべきではない、お金より命です」、瀬戸内寂聴さんは「90才になった、家で寝ていられない。力を合わせ原発止めろといい続けましょう」、落合恵子さんは「コンクリートから人への人たちが、命より原発



を選んだ。私たちが守るものはいのち、オスプレイも基地も反対」などの発言に、参加者からは大きな共感の拍手がわき、強い連帯を感じました。

福島からもバス26台が参加し、集会後のパレードも3つに分かれて、長い人の波が夜まで続きました。



藤沢でも「集会に私たちも参加した。行きたかったが予定があり残念、思いは同じです。」との声が多く届きます。真夏の強い日ざしの中、会場とその周りを埋めつくした「原発なくそう」の人々は、それぞれのスタイルやアピールで、その熱気や熱い思いは気温以上でした。

この集会が国民世論になり、政府に影響を与える力になったことを確信しています。今後、事実をとらえ学習し声をあげ、多くの人と連帯していくことの大切さを感じる集会でした。

↑90歳の瀬戸内寂聴さんが呼びかけ
(上) 会場を埋めつくした人・ひと・人！

(You Tube配信より)

(N. K)

原発事故による海と生物の汚染

6月24日の学習会での川崎健さん（東北大学名誉教授）の講演は会場が一杯になり、急遽椅子を補充して聴くほどでした。講演の概略をお知らせします。配布資料で分かりやすい図が配られましたが、省略します。

A 汚染はどのように広がったか

3.11 東電福島第1原発から3月21日～4月31日の間に海へ直接放出された放射性物質の総量は1.5京ベクレルに達する。放射性物質は黒潮に乗って拡散し、太平洋のはるか東へ広がったと推測される。一部は親潮に乗って沿岸を狭く南下した。

B. 汚染の海洋学的生物学的説明

放射性物質は海底に沈降し、高い汚染域は初めのうちには北茨城沖にまで及んだが、放射能の減衰とともに狭くなり、2012年3月下旬には、500Bq/kgをこえる汚染魚の分布は原発以南の狭い水域に限られてきている。汚染域は主として水深100m以浅の沿岸域である。

海洋では11月から4月までは日射が弱いと等温線は、鉛直断面で縦に走っており、上下循環が盛んであるが（混合期）、5月に入って日射が強まると、等温線が水平になってくる。表層50mとそれより深い層の間には躍層と呼ばれる不連続層が形成され、上下循環が妨げられる（成層期）。

放射性物質が運ばれる経路は2つある。原発から放出された汚染水は初めのうちには流速が大きいので濃度が高いまま表層をまっすぐ流れ（層流）、しばらくして流速が落ちてくると、無方向に乱れて（乱流）拡散してしまう。この層流の中で生物が汚染される。もう一つの経路は、表層で汚染されたデトライタス（プランクトンなどの生物の遺骸や糞その分解生成物）によるもので、海水の上下循環によって放射性物質が効率よく下層に運ばれる。

2011年4月初めから5月上旬にかけて、表層でコウナゴや海藻のアラメが、層流の中のヨウ素131とセシウムによって強く汚染された。コウナゴの汚染は呼吸によってエラから取り込んだもので、海藻を食べるアワビも強く汚染された。少し沖合に分布する表層魚のマイワシやマサバも汚染されたが、低濃度の乱流によるもので汚染度は低い。秋に来遊したサンマは、ほとんど汚染されていない。最も汚染されたのは沿岸域の海

（低放射線都市ふじさわをめざして）

底（100m以浅）で、放射性物質が海泥に吸着され、それをゴカイ、ワレカラ、エビ、カニなどの無脊椎動物が食べ、それを食べたアイナメ（沿岸の岩礁域に生息している）が6月になって汚染されはじめ、2012年5月になっても強く汚染されている。これと対照的なのはヒラメで、沿岸の砂泥域に生息し、泳いでくる小魚を食べるので、汚染度はアイナメに比べ低い。

海底の魚の汚染は時間が経っても低下せず、強い汚染が続いている。これは、海泥からじわじわと、放射性物質が出てくるためである。海の放射能汚染を考える場合、海水の挙動と魚の生物学的特性の2つを考慮しなければならない。海底の汚染マップを定期的にする必要がある。

C. 淡水魚と海水魚

海水魚は海水に比べて低い体液の濃度を保つために、常に海水を飲み塩類を排出している。従って海水中の放射性核種は、体内に溜まりにくい仕組みになっている。淡水魚は逆に体液濃度の方が環境水より高いため、淡水を飲まず塩類を体内に保つようにしている。従って放射性核種が蓄積しやすくなる。淡水魚の汚染度が高いのはこのためである。

D. 海を直接汚染した初めての原発事故

事故を起こした米国のスリーマイル島やソ連のチェルノブイリの原発は内陸に設置されていたため、海を直接汚染しなかった。福島第一原発は海を直接汚染した初めての原発である。

E. 鉛直循環である熱塩循環によって世界の海が汚染される

表層の水平循環は北太平洋で閉じているので、表層汚染は北太平洋の内部に限られる。熱塩循環は鉛直循環で、北大西洋北部を出発点として、世界の深海を循環し、北太平洋北部で浮上し、出発点に帰っていく。この深層循環によって世界中の海に放射性物質が運ばれる。

F 魚を汚染するのは放射性物質だけではない。

水俣病に示されるように、水銀による水産動物の汚染は深刻である。クジラ類、マグロ類、キンメダイなどは、暫定的規制値を大きく超えている。しかし、日本では法的に規制されていない。クジラを食べる北大西洋のフェロー諸島では、子どもに症状が出ていて、クジラは食用にふさわしくないという警告がデンマーク首相に出されている。水産物汚染の全体像を把握し、汚染から身を守ることが必要である。（日比 遥）

「ふくしまっ子 リフレッシュ in 湘南」 大成功！

7月22日～25日、福島県の南相馬市を中心とした10家族、32人が訪れ、こどもの国と江の島で思いっきり外遊びをし、リフレッシュする事ができました。

「福島海では放射能が恐くて遊べないので、今回海で遊べる企画に参加しました。感謝の気持ちでいっぱいです」「子どもたちがお腹を抱えて大笑いしている姿を見て『来てよかった』とつくづく感じました」「友達もできました。ウニもさわりました」等など感想が寄せられました。今後も参加したいが70%、わからない(仕事などで日程による)30%でした。

こどもの国は無料入場・宿泊、江ノ電管轄の江の島灯台も無料で見学でき、思い出をいっぱいつくる事ができたようです。交流会には100人も参加し、人形劇や片瀬ゴマで興じました。

35団体の協力を得て、新聞、TVなどマスコミやインターネットの力で宣伝でき、寄付は目標を達成できました。ご協力ありがとうございました。

放射能被害はこれからも続きます。「ふくしまっ子 リフレッシュ in 湘南」は引き続き続けざるを得ないようです。皆さまのご支援を今後ともお願い致します。

(福島子どもたちとともに・湘南の会 代表 青柳節子)



こどもの国のプールで



タベのスイカ割り大会



江の島で磯遊び・生き物観察

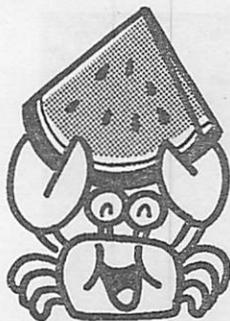
市民放射能測定値

測定日 4月13日(金)晴れ

測定器(ALOKA-TCS172B) : 90秒間の繰り返し3回

の平均値 単位($\mu\text{Sv/h}$)

- ① 亀井野 宅地 : 0.05 (地上1m)
- ② 同上 : 0.05 (地上5cm
築壁雨水落下点)
- ③ 亀井野 宅地 : 0.27 (地上5cm
雨樋雨水落下点)
- ④ 亀井野 宅地 : 0.31 (地上5cm
雨樋雨水落下点)
- ⑤ 亀井野3丁目公園 : 0.27 (地上5cm
雨樋雨水落下点)



武田問題対策連絡会総会開かれる

7月29日、武田問題対策連絡会総会が開かれ、暑い中、熱い議論をおこなった。

6月藤沢市議会で安全協議会の設置請願が否決されたことを受け、今後の運動は協力者を増やしていくこと、それには宣伝行動に重点をおくことなど話し合われた。

組織も地域部会や専門部会を設け、内容を深めたものを、全体会議に提出する事にするとの方針が出ました。

一括集中方式の滅菌方法の危険性、研究室のレンタルラボ化の危険性等など、現在の環境保全のための3者連絡会では問題に取り上げていません。真の安全協議会が出来るまでは、武田問題対策連絡会が問題を明らかにし、宣伝する使命を担っています。周辺の人達からも期待する声が聞こえます。(青柳)

ECONET INFORMATION

官原観光農園でブルーベリー摘み

8月8日(水) 9:30-12:30

費用500円 申込みは

片瀬江ノ島慣行案内所 24-4141



募集 =ボランティアと募金

呼び寄せ保養 リフレッシュキャンプ@藤沢

8月27日~30日少年の森

福島からの避難した家族のための交流

連絡先 kumicocorock.smile@gmail.com カンノ

「誰も知らない 基地のこと」映画上映

8月5日(日) 14:30 参加費500円

藤沢市民会館第1展示ホール

主催:ピースリレーふじさわ 44-5843島田

生ごみリサイクル交流会

*「韓国で広がる生ごみ資源化」ほか

8月26日(金) 9:50-16:30 早稲田大学国際会議場(東京新宿区) 参加費3500円

主催/問合わせ有機農産物普及・堆肥化促進協会

☎03-5410-3735

藤沢エコネットから

ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南

7/22~25無事に終わりました。ご協力頂いた団体・

個人の皆さまに深く感謝申し上げます

会費・購読料の納入お願い致します

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 7/21エコネット

(従来の振込方法も利用できます)

会員募集=年会費・購読料→3000円

事務局会議 8月17日(金) 16:00~推進センター



《編集後記》ロンドンオリンピックが開幕した。この暑い日差しのなか、テレビ観戦のかたも多いと思う。その裏で、国会周辺では「脱原発」の集会に続々と押しかけて、五輪より面白い!と、今までにないことが起こっている。消費税増税や原発対応など、政治のうごきが気になる。しっかり目を向けていこうと思う。(H)